



一歩ずつ確実に前進

第181回拡大地方委員会

国 労 ち ば

国鉄労働組合
千葉地方本部
発責 井村 好博
編集 安田 正浩
【電話】
JR 2930 FAX 2934
NTT 043 (238) 5963
FAX 043 (238) 5967

第181回 拡大地方委員会号

新型コロナウイルス感染症拡大防止で緊急事態宣言発出中の2月27日、第181回拡大地方委員会を千葉県教育会館で開催した。

今回も出席者の手洗い、消毒、検温、マスク着用、演壇にアクリル板設置、机は1人掛けでの着席、発言後マイクの消毒、1時間に1回の窓開け換気等しながら短時間で行った。

安田副委員長が「労働組合の存在意義JRに働くすべての仲間の労働条件改善を求めて闘う私たち国労の価値と進化が問われているように思います。私たちの要求は山積されている」と開会のあいさつをして始まった。



委員長あいさつ

コロナの中で旅客・貨物問わず様々な攻撃がされている。キチンと仲間と討論しお互いの意見に学び合い意思統一したい。赤字論に対し安心して働ける賃金や労働条件を明らかにし春闘に向かう。社員代表選挙で労働組合の必要性訴え、組織数以上票を獲得しているが、まだ組織拡大に

千葉運輸区分会の島崎委員長を議長に選出「過半数代表者選挙では他労組と統一候補立候補を擁立し闘ったが負けた。労働組合の重

はつながっていない。地域公共交通では、問題を駅頭宣伝で利用者者に訴えてきた。関係市議会議員や利用者など地域で様々な意見交換してきた。市議会一致で「意見書」を国や千葉県知事に提出もワンマン運転などダイヤ改正の問題を検証していく。

今年千葉県知事選挙・衆議院選挙が行われる。生活全般を変えなければいけない年になってきている。皆さんの発言から全体で闘いの確認をしたい。

要性を訴える事が必要。活発な発言から意義のある委員会にしたい」と就任のあいさつを受けた。井村委員長のあいさつ後、宮負執行委員より東日本本部からのメッセージが読み上げられた。北嶋業務部長から協定・

活動方針



協約の締結承認と、主な交渉経過が報告され承認された。加藤書記長が当面の活動方針(案)提案、経過と方針の討論では11名が発言、満場の拍手で当面する活動方針と委員会宣言が採択された。安田副委員長の閉会あいさつ、井村委員長の音頭で団結カンパローを三唱し散会した。

東日本本部メッセージ
2021春闘は、統一要求9項目の完全実施を求め、職場から要求改善の取り組みを積み上げよう。要求の根拠である労働は、コロナ禍の中で感染リスクを抱えながら「変革のスピードアップ」の变化に対応し、安全・安定輸送を守り、その価値を高めている。組織の強化・拡大は、

喫緊で最重要課題だ。会社の進める各種施策に対する問題や不満は、組合員も非組合員も、旅客も貨物も変わらない。職場での実践に学び、さらに拡大の輪を広げよう。きたる衆議院総選挙は、自公政権から、国民のための政治への転換を図るチャンス。立憲野党の擁立する統一候補の当選に向け、奮闘していこう。

私たちが千葉地方本部は、昨年11月に第74回定期大会を開催し、合理化反対、労働条件の改善、安全・安定輸送の確立、2021春闘勝利、組織強化・拡大の取り組み、平和と民主主義を守る闘いに全力をあげることが確認し、決定された方針に基づき運動を展開してきた。

「コロナ禍」での赤字を理由とした会社の攻撃と「エッセンシャルワーカー」として「生命と健康」を賭して働いている私たち労働者の現状が認識された。また「何とか問題を解決したい」と会議を開き議論。同じ線区で働く他系統の分会と交流した。などの取り組みも共有された。

「みどりの窓口」廃止・時間短縮、駅の業務委託・無人化が進められ、ダイヤ改正ではワンマン運転が拡大される。労働条件改善と地域の足を守る運動を強化していく。菅首相に代っても政治と金の問題、政治家への付度は止まず、国民不在の政治が続いている。福島の復興、沖縄の米軍基地移転、木更津基地へのオスプレイ暫定配備など諸問題の解決、政治を国民の手に取り戻すため来る千葉県知事選挙と衆議院選挙に全力を挙げる。経験豊富なベテランが減る中、重大インシデントや事故が多発している。技術継承が進まない中でも「生産性向上」は進められる。旅客会社では収入の割合を鉄道業からスイカ・生活事業へと軸足をシフト。貨物会社では総合物流企業グループとして社会価値向上するとしている。JR東日本では、社員の7割が労働組合未加入の中、労働組合の重要性を訴えていく。

第181回拡大地方委員会の任務は国労の将来展望を見据え、組織強化・拡大に組合員が一丸となり全力で取り組み事にある。JR東日本・貨物・関連会社のすべての労働者の要求作りと労働条件改善、安全・安定輸送の確立、不当な扱いに屈せず闘う労働者への支援、地域共闘、国民的課題・政治的課題と国労の闘いを一体とし運動を強化していく。

また「地域住民の足を守る運動」のさらなる展開と、職場組合員の声に依拠した運動を強化するため、職場オ

また「地域住民の足を守る運動」のさらなる展開と、職場組合員の声に依拠した運動を強化するため、職場オ

質問・討論

◇秋山委員(佐倉)



誰が候補者に選ばれても皆で支えていくことを意思統一し新たな候補者を決めた。

成田分会と合同選挙対策委員会設置。役員の見直しで事務局に随時報告態勢を整えた。ライングループを作り分会全員で取り組んだ。成果を今後活かしたい。

◇鈴木委員(蘇我連)



分会の組合掲示板が小さく使いづらい。若い人たちと意見交換し強制配転など不満の声を掴む。社員代表選で東労組と協力し勝利。

総括交流もしたい。職場には3つの組合。主義主張はあるが社員代表選のような取り組みなら職場改善に向け協力も。職場に労働組合や労働運動を残したい。

◇古賀委員(千機関区)



春闘で近年は少額だが有額回答。内部留保を使えば50000円の賃上げも可能。ダイヤ改正で一徹減でマイナ

ス2名。日勤へしわ寄せ。職場の7割がシニアで拘束時間短くすべき。確実に年休取得出来る要員を。越中島に新型車両導入で派出化を懸念。新型コロナ感染者への対応。

◇関口委員(鴨川連)



ワンマン化で転勤も。運転士が車掌の仕事も行い負担増。4両から2両に減り通学時間帯は乗降が大変。障がい者の乗降も懸念される。車掌が案内係として乗務の予定も。職場が何年もつかとの声も。分会として展望の持つる取り組みをしたい。

◇大久保委員(京車セ)



感染予防の換気。車で窓の固いが修理。広告がめくれる事態発生。手すりの消毒など作業が増え、一人10000円の報奨金。新入社員4人うち2名が退職。将来性の持つる労働条件が必要。

◇鈴木委員(津田沼)



ダイヤ改正で自動改札機の入場システム変更。エキナカ店舗のな

い駅は意味が無い。事故等でダイヤ乱れると処理が大変になる。他駅へ往復しても入場料金、入場記録点検が必要だ。「みどりの窓口」が廃止され、設置駅を案内したいが通勤時間帯に開いていない。

◇市原委員(木保)



君津、鴨川、久留里線が担当範囲。雨風の影響大。苦情や死骸処理など7名では大変。木更津の地域では役員を中心に意見交換している。市議会に質問取り組む。

◇永野委員(大網保)



社員代表選に国労組合員が立候補し組合員数を上回る得票に。今回の事例大事に。1票は期待大きい。エルダー出向先ではプロパーと同じ仕事をしていて手当に差がありおかし。所長面談でも訴える。

◇黒川委員(両国)



分会大会開いたが転勤で役員未定。早期に体制を。新人は日勤勤務で遠隔を覚えら

れるのか、教育できるのか懸念。2名が60才に、組織が減り今後の分会態勢も考えないと。

◇篠原委員(茂原)



分会の平均年齢は60才超。昨年分会長が体調不良で退職し分会活動停止状況。組織再編大出来ない。組織再編考えて。エルダー先は様々な職種が増えていく。組合員の不安無いような対応をお願いしたい。

◇寺林委員(新保)



分岐器の付近に照明を付ける要求を継続。社友会に国労4名が加入、代表を勝手に決めないよう要求、労働条件改善のため書記長を推薦した。白票1に期待。次年度の取り組みにしていきたい。

書記長集約



内房線・久留里線を守るということ。木更津の報告があった。館山市議会から意見書が全会一致で出されたが、それを受けて館山市議と意見交換をした。

今後、館山だけでなく地域住民の皆さん方々と連携をしながら進めていきたい。この間「住民の足を守る運動」を障害者団体の方々と連携した取り組みも進めてきた。

再雇用制度を生かす労働条件の改善に対しては賃金改善と言うことで4月に法改正がされる。JR東日本から提案がないということ。我々としても「危惧することだから求めてほしい」と要望を出している。「70歳までの

集団感染しないような対策が必要。ワンマン運転反対へ各市町村に入り説明。職場はどうなるのか? もっと声をあげて。2名から出された分会再編の話は、検討させていきたい。

答弁

◆社員代表選挙は次の人材育てる事も必要。労働組合の必要性を訴えていく。

◆新型コロナウイルスは様々な所で感染発生。

定年延長」ということや「定年の廃止」と言うことも将来の法改正に入るようになっていく。我々もそのことをキチンと言いつつ、また広めながら会社側に訴えていくことが必要である。「同一労働・同一賃金」それが基本である。

組織強化・拡大について、分会の活性化につながる。その為の組織拡大を見据えた再編が必要であれば皆さんと協議を進めていきたい。組織拡大は財政と直結した最重要課題。労働運動をしっかりと継承するための意も全組合員が組織拡大を最大限の課題としながら取り組みの強化をしていきたい。

会社はコロナ禍において「変革のスピードアップ」対応をしながら社友会を巧みに利用し、あたかも社員がそれに望んできたということを言いながら巧妙に押し進めてくることは明らかである。国労は仲間と議論して安全・安定輸送の確立をしていかなければならない。

いずれにしろ機関会議を開催し、議論を重ねながら職場で多くの未

加入労働者に対して労働組合の必要性を訴え、皆と強化していく。

春闘については、50000円の要求を基に千葉地本としては拡大中央委員会の中でも発言したがしっかりとそれを掲げながらやっていく。だが、金額だけではなく「生活も絡んでいる」と言うことを合わせながら様々な問題点も春闘に結合させながら取り組んでいく。

最後に私たちに課された課題は山積している。解決していくためにも組織拡大は最重要課題である。委員会でも出された意見や要望を具体化する中で、春闘での大幅賃上げの獲得や労働条件の改善。利用者サービスの向上に向け、職場地域からの団結で組織拡大を展望した再構築をし、一歩ずつ確実に前進するよう努めることとする。

地本も闘いの先頭に立って職場の組合員と共に全力で取り組むことを訴えて、この地方委員会開催にご理解いただいた職場組合員の皆様に改めて感謝を申し上げます。第181回の拡大地方委員会の集約とさせていただきます。